



放鷹術を披露すると、観光客らが驚きの声を上げた＝岡山市北区丸の内2丁目

台風一過催しにわく

AMD A医師被災地へ

台風一過の13日、雲の切れ間から青空がのぞいた県内では、前日に中止となったイベントが始まった。また、国際医療NGO「AMD A」(事務局・岡山市北区)の医師が被災地に向けて出発した。

岡山市北区丸の内2丁目の岡山城とその周辺で「秋のおかやま桃太郎まつり」が13日始まった。前日のイベントは中止となり、期間を短縮して2日間の開催となった。岡山城では、鳥取市の団体が伝統芸能「鳥取しゃんしゃん傘踊り」を軽やかに踊り、日本放鷹協会員5人は諏訪流放鷹術を披露して、訪れた市民や観光

客らを楽しませた。鷹を腕に止まらせたり、鷹を飛ばしたりした玉野市の小学5年、三宅奏介君(11)は「ぴゅんと飛んできた。飛ぶ直前は腕にぐっと重みがあった」と笑顔で話した。

同日午前、AMD A緊急救援ネットワーク登録メンバーの医師で、徳島大大学院総合診療医学分野助教の鈴記好博さん(54)が、JR岡山駅から東京に向けて出発した。都内で看護師と合流し、長野県内で避難者の健康上に必要な物資などを調査する。

(高橋孝二)